



塩沢商工高等学校等国道17号橋梁点検現場実習

9月28日(水)、塩沢商工高等学校機械システム科の3年生6名、新潟県建設業協会六日町支部の若手技術者4名の計10名が南魚沼市及び湯沢町の国道17号の橋梁点検実習を行いました。

今回の実習は、北陸建設界の担い手確保・人材育成に繋がることを目的に実施しました。

点検実習の後は、ワークショップ型式により、実習で学んだことを基に損傷の原因、対策方法について討議し、施策的な考え方や技術的な手法等について意見交換を行いました。

生徒からは、「橋の上ではどれだけ古くなっているかわからないが、実際に橋の下をみると鉄筋が露出している箇所があり、破損の状況がわかった。」「コンクリートをハンマーで音を確認し、破損部分は音に違いがあることがわかった。今後、老朽化が進み、橋梁を修復する技術や点検する技術が必要になるので、大学ではコンクリートに関する勉強をして、地域の役に立てる人になりたいと思った。」等の意見があり、より建設業界への興味を持って頂く良い機会となりました。
【保全対策官(維持・修繕担当)】



橋台点検でハンマー打音点検実習の生徒



橋台点検でハンマー打音点検実習の生徒



実習結果をワークショップ型式で検討

長岡高専の学生が八箇峠道路と信濃川で現場見学

9月28日(水)、長岡工業高等専門学校環境都市工学科第3学年の生徒41名が八箇峠道路(八箇峠トンネル舗装工事)と信濃川(西川口河道掘削工事、川井築堤工事)の工事現場を見学しました。この見学会は、日頃の授業で学んだことが、社会で、どのように役立つのかを理解してもらうために実施しました。

生徒は、新技術や情報化施工技術を活用している工事の施工方法や施工機械、災害から地域を守るために実施している工事の説明を、熱心に聞いていました。
【調査課】



洪水を安全に流下させる河道掘削工事



スリップフォーム工法を採用した八箇峠トンネルのコンクリート舗装工事



情報化施工技術を活用したバックホウによる築堤工事

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

携帯版

スマホ版



ちよーこく 検索